

令和8年度一般選抜A個別方式 出題意図

科目名： 歴史総合，日本史探究

I

「A 原始・古代の日本と東アジア」をテーマにした大問である。「(1) 黎明期の日本列島と歴史的環境」及び「(2) 歴史資料と原始・古代の展望」，「(3) 古代の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈，説明，論述）」に対応した大問として，古代の特色を示す史料や文章群を用い，それらの内容に関する知識だけでなく，出来事の前後関係や正誤の組合せなども問う設問も設け，受験生の総合的な学力の識別を試みた。

II

「B 中世の日本と世界」をテーマにした大問である。「(1) 中世への転換と歴史的環境」及び「(2) 歴史資料と中世の展望」，「(3) 中世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈，説明，論述）」に対応した大問として，中世の特色を示す系図や文章や史料を用い，それらの内容に関する知識だけでなく，出来事の前後関係や正誤の組合せなども問う設問を設け，受験生の総合的な学力の識別を試みた。

III

「C 近世の日本と世界」をテーマにした大問である。「(1) 近世への転換と歴史的環境」及び「(2) 歴史資料と近世の展望」，「(3) 近世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈，説明，論述）」に対応した大問として，江戸の大火と相撲をテーマに近世の特色を示す図表と会話文を用い，それらの内容に関する知識だけでなく，出来事の前後関係や正誤の組合せなども問う設問を設け，受験生の総合的な学力の識別を試みた。

IV

「D 近現代の地域・日本と世界」をテーマにした大問である。「(1) 近代への転換と歴史的環境」および「(2) 歴史資料と近代の展望」，「(3) 近現代の地域・日本と世界の画期と構造」，「(4) 現代の日本の課題の探究」，さらには「歴史総合」の「近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え」る視点などに対応した大問として，日本大学創立時の史料や会話文を用い，それらの内容に関する知識だけでなく，出来事の前後関係や正誤関係なども問う設問を設け，受験生の総合的な学力の識別を試みた。